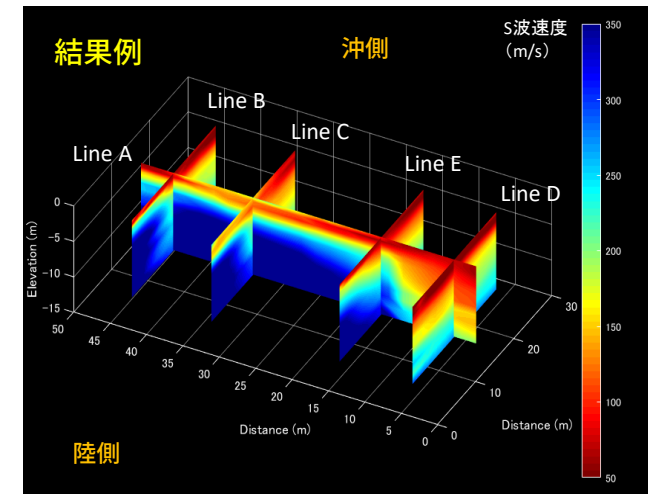
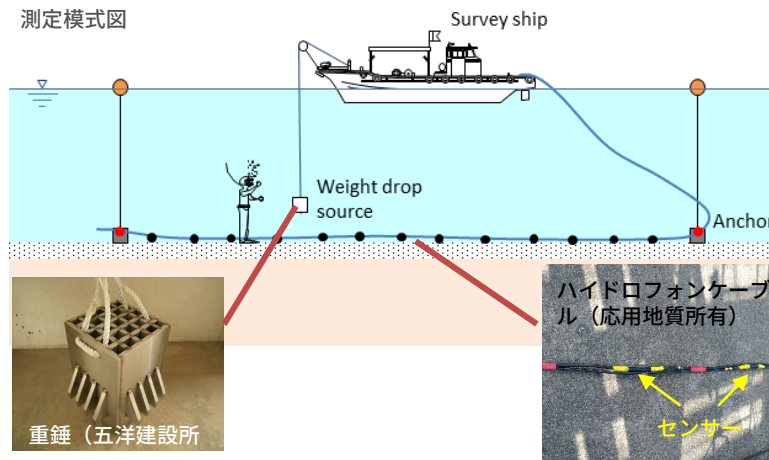


発明の名称 (正式名称) **水底地盤の探査方法 (特許第6793505号)**

技術概要
(従来技術との差異や特徴)

地盤のS波速度を効率よく把握する方法として陸上では表面波探査が広く用いられています。しかし、海域で表面波探査を実施するには、海底設置型の地震計やエアガンのような起震源を準備する必要があり、陸上のように効率的に測定することができませんでした。そこで、**多チャンネルの受振器を内蔵したハイドロフォンケーブルを用い、さらに船上からの操作で海底を簡単に起震できる重錘震源を用いることで、海底でも陸上と同様に効率的に表面波探査を実施することを可能としました。**



商品の具体例 商品：水中表面波探査による港湾内海底地盤の地盤改良効果の把握

参考資料 [柳橋 寛一、熊谷 隆宏、上野 一彦、小西 千里：水中表面波探査による海底地盤情報の可視化手法の開発，土木学会論文集B3 \(海洋開発\), 2018, 74巻, 2号, p. I 402-I 407](#)
[T. Kumagai, T. Yanagibashi, A. Tsutsumi, C. Konishi, K. Ueno: Efficient surface wave method for investigation of the seabed, Soils and Foundation, 60\(3\), 2020, 648-667, <https://doi.org/10.1016/j.sandf.2020.04.005>](#)

共同出願人 五洋建設株式会社

お問い合わせ先 ※ 応用地質Webサイトの「[お問い合わせ](#)」から「特許に関するお問い合わせ」を選び、お問い合わせください。